



# 湯倉が丘



R6 キーワード「進化・深化」

ホームページ：<https://member-hakodateshiyunotyuu.edumap.jp>

## トラブルは、“学び”の機会

校長 田上 直広

### 対話から目標(目的)を確認。合意形成を図り成長する

#### 1年生の悩み相談

先日、1年生に、「友達から悪口を言われている。仲間外れにされた。」「そっちが先に言ってきたから…。」といった小中学校でよくあるトラブルがありました。

もちろん子ども達同士で解決できれば良いのですが、それが難しく、大きな問題になる前に、担任の先生に相談してくれたのは信頼関係の証であり嬉しく思います。そこで、先生方が複数で関わり、当事者の2人および周囲の生徒達に傾聴姿勢で話を聞くと、2人からは、**今後のありたい姿(目標・目的)**として、「仲直りをしたい。前のように一緒にいたい。」ということで**一致している**ことがわかりました。

それではどうしたらよいと思うか。子ども達に考えさせました。その結果、先生方の立ち会いのもと、お互いに自分の悪かったことを伝え、謝り、以前のように過ごすこととなりました。結果的には、このトラブルが、他者の気持ちを理解するとともに成長する機会となりました。

#### 3年生、中学校生活一番の思い出

3年生の入試に向けた面接練習の中で、**3年間で一番思い出に残っているできごと**をたずねると、「修学旅行」「中体連大会」等と並び「文化祭」と答える生徒が多いです。そこで、「文化祭」と答えた生徒に、「文化祭での、どのようなことですか。具体的に話してください。」と聞くと、数名の生徒が、「合唱練習中、練習のやり方や時間配分等でかなり揉めて、喧嘩状態になったけど、自分達の問題なので自分たちで話し合いをして解決し、よりまとまったことで、最高の賞を取れたからです。」と、同じような話をしてくれました。

こちらも**目標(目的)**は、クラス全員に共通しているものなので、それに向かう手段等に意見の相違があったとしても、互いに**ゆずり合って(尊重し合って)合意形成を図り、その成果が結果的に目標達成へとつながった**ことで、喜びもひとしおだったことと思われます。

#### ただ見守っていました

担任の先生に聞くと、こう答えました。私はそれを聞き、うちの職員は素敵だな、さすがだなと思いました。「見ていた。」のではなく、「**見守っていた。**」のです。

教師は、警察官でも裁判官でもありません。あからさまに心身の安全や安心等をおびやかすような場面では即介入すべきですが、本校では、**小さなトラブル、特に対立場面**においては、目標(目的)や道筋を確認させることはしますが、安易に介入したりすぐに多数決で決めたりすることはせず、ただし、しっかり見守る姿勢やその後の状況も確認すること等を大切にしています。

### 不確実な未来を、“自分らしく生きる”

#### 自律姿勢を育む

変化が激しく正解の見えない不確実な時代。そして、ますます多様性が求められる時代に、親や教師が何でもすぐに解決してくれる、決めてくれるといった受け身の姿勢では、将来、現実社会の中で苦勞することになってしまいます。

**他者を尊重しつつ**、あくまでも自分の頭で考え、判断して実行していく、そんな**“自律”姿勢**こそ必要です。本校のスローガン「自律・尊重」にはそのような願いがあり、重点教育目標「確かな学びを通じて、自分らしく未来を生きる生徒の育成」につながっているのです。



# チームで創る学校

～専門スタッフと支える学校教育～

チームとしての学校とは、教員だけではなく、多様な専門職の皆様が一体となって生徒を支援できる体制です。それぞれの専門性を生かしながら、連携・協働して生徒一人一人を育むことをねらいとしています。以下に、今年度「**チーム湯中**」で活躍している方々を紹介します。

「**ALT**」は外国語指導助手のことを言います。生徒の英語コミュニケーション能力向上と国際的な理解を深めることを目指しています。本校には8月からパントトリア・エリエル先生が着任し、楽しくクリエイティブな授業は、英語への興味を喚起し、生徒の自己表現力を育てています。



「**ICTサポーター**」とは、デジタル機器活用が進む学校においてその活用を支援する人材です。本校には熊谷卓昭さんが派遣され、授業における効果的なICT活用アイデアやアドバイスをいただいています。また、実際の授業ではティーチングアシスタントとして支援に入ることもあり、ICTサポーターの存在は大変大きいです。



「**スクールカウンセラー(SC)**」は臨床心理に関する専門知識をいかし、生徒及び保護者、教職員に相談・支援を行います。不登校やいじめ、親子関係、学習関連など様々な問題や心の悩みに対し、専門的な知識を駆使して心のケアをしています。本校には今年度、川村幾代先生が着任し、これまで多くの生徒・保護者のカウンセリングをしています。



「**学校司書**」は学校図書館の運営を行う専門職です。主な業務は学校図書館メディアの発注受入から分類・配架、読書案内、広報活動など多岐にわたります。本校では伊東亜湖司書が勤務されており、文化委員会との連携や季節に合ったイベントなどを通して学校全体の読書活動を支えています。



「**HGC**」は放課後学習チャレンジの略語です。本校では退職員人材活用事業として、鈴木利春先生が行事日や水曜日をのぞくほぼ毎日来校し、数学を中心に放課後学習をサポートしてくれており、本校の数学力向上に一役買ってくれています。



# 保護者と創る学校

～多くの参観者で支える教育環境～

2月7日(金)、今年度3回目の授業参観が行われ、保護者、学校運営協議会委員、地域の方をはじめ総勢120名を超える方が来校されました。どの教室も参観者が入りきれず、廊下にはみ出る盛況ぶり。メモリアルルームでは、学校運営協議会委員の皆さんが数ある資料の中からご自分の名前を発見する楽しいひと時も。たくさんの方の参観で、生徒の学習意欲も高まり、和やかな中にも集中力のある授業が展開されていました。保護者・地域の方からの関心の高さにあらためて感謝いたします。



# 地域と創る学校

～「小さな親切実行章」より～

湯川学の一環である地域連携事業の包括センター訪問や介護予防体操考案に対して「小さな親切実行章」を頂きました。小さな親切運動とは、人と人をつなぐ思いやりの気持ちを育もうと実践する活動を指します。2月14日、全校生徒を代表して、体操を考案・披露した2年生3名が表彰されました。今後も地域とともに思いやりのある学校づくりを目指します。



## 3月の主な予定

※Fはフォーマルデイ

- 3日(月) 3年生午前授業給食なし
- 4日(火) 公立高校学力検査 新入生体験入学
- 5日(水) 公立高校面接
- 11日(火) SC
- 12日(水) 卒業式総練習 F
- 13日(木) 同窓会入会式 3年 F  
3年生給食最終日
- 14日(金) 卒業証書授与式 F
- 17日(月) 公立高校合格発表 ALT
- 18日(火) 1・2年生給食最終日
- 20日(木) 春分の日
- 21日(金) 大掃除 コミュニティスクール
- 24日(月) 修了式・離任式 F
- 25日(火) 春休み～4月6日

